

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																														
3.出来形及び出来ばえ II.品質	コンクリート 構造物 工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																														
<p>【評価対象項目】</p> <input type="checkbox"/> 1. コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度、水セメント比、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 5. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適正に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7. 鉄筋の品質及び規格が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9. 鉄筋の組立・加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 14. その他（理由）																																					
<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																																
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																																
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
<p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／対象評価項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																					
<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p>																																					

別紙-3㉟

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 海岸工事 トンネル工事	●評価対象項目 □1. コンクリート構造物の表面状態良い。 □2. コンクリート構造物の通りが良い。 □3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □4. クラックが無い。 □5. 漏水が無い。 □6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事 (盛土、築堤等工事)	●評価対象項目 □1. 仕上げが良い。 □2. 通りが良い。 □3. 天端及び端部処理が良い。 □4. 構造物へのすりつけ等が良い。 □5. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	
	土工事(切土)	●評価対象項目 □1. 規定された勾配が確保されている。 □2. 切土法面の施工にあつたて、法面の浮き石が除去されるなど、適切に施工されている。 □3. 法面勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 □4. 滞水等による施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 □5. 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	土工事(河道開削)	●評価対象項目 □1. 規定された縦横断勾配が確保されている。 □2. 河積を阻害する転石等が除去されるなど、平坦(または適切)に施工されている。(魚巢等の目的を有する転石を除く) □3. 法面・河床勾配の変化部について、緩衝部を設けるなど適切に施工されている。 □4. みお筋の通り(平面線形)が良い。 □5. 関係構造物との取り合いが適切に施工されている。 □6. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d	
	護岸・根固・水制 工事	●評価対象項目 □1. 通りが良い。 □2. 材料のかみ合わせがよく安定している。 □3. 天端及び端部の仕上げが良い。 □4. 既設構造物とのすりつけが良い。 □5. 曲線部や縦断勾配の急な箇所施工が良い。 □6. 吸い出しやクラックが無い。 □7. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・b 該当4項目・・・c 該当3項目以下・・・d	
	鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)鋼製シェット工事	●評価対象項目 □1. 表面に補修箇所がない。 □2. 部材表面に傷及び錆が無い。 □3. 溶接に均一性がある。 □4. 塗装に均一性がある。 □5. 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d	